

PT・OTが股関節リハビリテーションを 基礎から実践まで深く理解するためのセミナー

池田 崇 先生

名古屋市立大学医学部保健医療学科
リハビリテーション学専攻
理学療法学コース運動科学分野 教授
医学博士

股関節を徹底的に、そして、他の関節も、運動器全体を、つなげて理解する。その上で最新の治療概念を学ぶセミナーです。

2026年8月1日(土)10:00~16:00
(9:30~受付開始)

グランキューブ大阪



大腿骨頸部骨折を代表として、股関節に問題を抱える患者さんはあまりにも多い。それだけに療法士として働く以上、股関節障害に関わらずにやり過ぎことはまず不可能です。

PTでもOTでも、たとえ脳卒中や呼吸や心臓が専門だとしても、ましてや介護保険領域なら尚のこと、一定の見識が求められます。

股関節障害はあまりにも多いため、軽く見積もられがちで「仕方のないもの」「誰にでもあるもの」として片付けられることが多いのもその特徴です。

股関節リハビリテーションはかなりの速度でアップデートされています。

本セミナーでは、保存療法だけでなく、人工関節を含む手術療法についても扱いながら、基本的な機能解剖や評価法、さらに一步進んだ股関節の治療戦略、他の関節や骨盤、脊柱との関係、そこから導き出される理論に裏打ちされたリハビリテーション戦略、加えて筋生理を含む最新のリハ栄養までを網羅します。

PT・OTが膝関節リハビリテーションを 基礎から実践まで深く理解するためのセミナー

南條 恵悟 先生

湘南鎌倉総合病院主任理学療法士
神奈川県立保健福祉大学卒業
神奈川県立保健福祉大学大学院保健福祉学
研究科修了
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
修了(医学博士)

膝関節の解剖学・運動学を、あるいは人工関節について。股関節や足部との関係を。結局、どうやって改善に導くかを学ぶセミナーです。

2026年8月2日(日)10:00~16:00
(9:30~受付開始)

グランキューブ大阪



多くの高齢者が膝関節の痛みや不調に悩まされています。変形性膝関節症による痛みを訴える高齢者、そして人工関節手術後に不具合のある高齢者が本当にたくさん存在します。療法士なら、どのような領域にいても、どのような専門分野であっても、このような悩みを持つ患者さんに絶対に遭遇するはずですよ。

そのような患者さんにとって、非侵襲的な治療法であるリハビリテーションは一つの大きな福音だといえます。

膝周辺の最新の解剖学・運動学、そして正常な、あるいは変形してアラインメントが変位した時の力学を徹底的に学びます。股関節や脊柱、足関節や足趾との関連、つまりは下肢機能全体の構造や動き方を徹底的に復習します。

国内外のエビデンスを念頭に、患者さん一人一人の病態を正確に評価、分析、解釈する能力を学び、習得します。

具体的な運動療法や装具療法、杖や靴の工夫、物理療法や栄養療法の可能性など、つまりはリハビリテーションの実際を学びます。

運動器リハを深く理解する2日間

『運動器リハ』集中セミナー

2026.8.1-2 [土・日]

お申し込みは **Webサイト** で賜ります

ナレッジリンク

検索

ナレッジリンクHP

